

研 究 主 題

「未来へとたくましく生きる体づくりができる子どもの育成をめざして」

～友だちとのかかわり合いを生かした学習の流れの工夫を通して～

1 研究主題について

児童の体力の二極化や外遊びの不足など、児童を取り巻く環境の変化により、様々な問題が指摘される中、体育の学習では、「友だちと共に体を動かすことが楽しい」という経験を積ませることが重要であると考え、西伯郡では、昨年度に引き続き、「未来へとたくましく生きる体づくりができる子どもの育成をめざして」～友だちとのかかわり合いを生かした学習の流れの工夫を通して～と設定した。

2 研究の実際

西伯郡では、上記研究主題のもと、子どもたちが学習を通して友だちと共に体を動かすことが「楽しい」、「また次もやってみたい」と思える児童を育てることをねらいとし、「教材・用具の工夫」、「友だちとのかかわり方」、「振り返りの充実」の3つを視点とし、具体的にどのように学習過程に仕組んでいくのかを考慮しながら各学校で授業実践を行い、研究を深めてきた。

さらに、一昨年度の中四国小学校体育研究大会（鳥取大会）での分科会発表で得た成果をさらに充実、発展させていくことをめざし、以下のことを意識して郡全体として取り組むこととした。

- 会見小の「会見スタンダード」を「西伯スタンダード」として各学校の体育での実践に生かす（系統表の活用）
- ストーリー性を持った単元構成や場づくりの工夫を全学年に広げる
- 「振り返りカード」や「単元シラバス」を用いて学習を進めていき、振り返りの充実を図る

3 具体的な取り組み

7月8日	授業研究会 西伯小学校 第6学年 陸上運動「短距離・リレー」 授業者 永井 翔馬教諭 田子 智浩教諭
8月1日	実技研修会（大山中学校） 陸上運動の指導実技講習会 講師 大山町立大山中学校 萬井 誠教諭 （参加16名）
8月8、9日	夏季一泊研修会参加
10月21日	中・四国小学校体育研究大会参加（島根大会）
12月26日	スキー指導者講習会
2月 末日	事業反省会 本年度の反省と29年度の研究の方向性について

4 来年度に向けて

一昨年、米子市で行われた中・四国小学校研究大会（鳥取大会）で実感したこれまでの郡の取り組みの成果を、今年度も郡内の各校に広げることができた。来年度はさらに各校で、系統表を活用し、身につけるべき技能の明確化に努めながら、さらに充実した体育の授業につなげていきたい。